

1月3日：テトを前に様子見で推移か

アメリカとイランの対立とテト前のセンチメントの二つの要因が、今週のベトナム市場に影響を与えるだろう。

今週 VN 指数は 950-970 ポイントで推移すると予想される。先週金曜日、同指数は 0.16% 下落し 965.14 ポイントで引けた。

木曜日にはイランの軍司令官が殺害されたことでアメリカとイランの緊張感が高まる中、同指数は先週、海外市場の動向を見ながら狭いレンジで推移した。

両国の関係悪化がエスカレートし、国際市場で原油価格の上昇にもつながった。

金曜日には原油価格は 3.5% 上昇し、1 バレル 68.6 ドルで終わるとともに、WTI 原油価格も 3.0% 上昇し 1 バレル 63.05 ドルで引けた。

しかし原油価格の上昇は、国内の石油・ガス関連の銘柄の株価への影響は限定的だった。

GAS は木曜、金曜の二日間で 1.2% 上昇したが、週間では 2.3% 下落した。PVD が先週 1.3%、PVS は 3.4% 上昇した。

アメリカとイランの緊張は短期的に石油・ガス銘柄に恩恵を与えると BSC はウィークリーレポートで書いている。

しかしながら、先週はとりわけアメリカの空爆後、市場のセンチメントは乏しかった。

海外市場もアメリカとイランの対立による下押し圧力を受けており、投資家は相場に確信を持ってないとサイゴンハノイ証券 (SHS) は述べている。

「投資家は市場の短期的な見通しを悲観的に見ている。」 SHS は述べている。

VN 指数は過去 4 週間低迷しており、方向性が見えるまでは予想以上に時間を要するかもしれないと、同社は見ている。

アメリカとイランの対立は今週も市場にのしかるだろうと、VN ダイレクト証券は述べている。

多くの投資家はアメリカの空爆後、慎重姿勢を取っているが、世界の市場に大きな影響を与えるものではないと見ている投資家もいるとロンベト証券は見ている。

「イランや世界のトップがどう動くか注視し、株式市場への影響を見極める必要がある。月曜日は今週全体の動向を探る上でも重要だろう」と同社は見ている。

もう一つ考慮に入れるべきはテト前の市場のセンチメントで、テトまで3週間足らずであるということだ。

FPT証券によると、2011年から2019年のテト前5日間のセッションで、上昇したのは13セッションあり、今年もこの動きは続くと予想される。

2019年のテト前5日間で、VN指数は0.38%下落した。2018年は同じく4.76%、2017年は2.05%上昇した。

投資家はテト前にキャッシュを確保したいことから、利益は限定的で市場の流動性も低くなる。ベトナムのような発展途上の市場では通常のことだ。

VN指数は950-970ポイントで推移し、流動性も低いと予想される。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。